

TAKE FREE

八代の民俗芸能・祭りを知るならこの1枚！

DENBEN PRESS

2025
September
No.45



現在の鳥居と額



【8/19 から展示の作品】

- 「細川重賢額字」
(市指定文化財)
- 「中宮并下宮願文写し」

現在の鳥居の字は額字を縦書きにして使ったものなんだ。今度じっくり見てみてね。

お宝ギャラリーで展示中の「妙見宮と祭り」で一部展示替えがあったから、今日はそこから「細川重賢額字」を紹介するね。
お祭りで神社に行ったとき、鳥居の上の方にある額まで見る人はあんまりいないかな。実はそこに書いてある文字の元になったのは、細川重賢という熊本藩の殿様が、安永三年（一七七四）に書いた文字なんだよ。二五一年前のことだね。その2年後に松井宮之が職人に命じて造らせた額は市指定文化財になっているよ。

お宝ギャラリー「妙見宮と祭り」から
殿様の直筆
「細川重賢額字」
ほそかわしげかたがくじ



笠鉾スタンプ サービス期間

～10/4

この期間は、希望の笠
鉾スタンプを押しても
うることができます



江戸時代、妙見祭が終わって町に戻ってきたらお城の中に入っておったから、その時に門をくぐれるようにそうなっているという説もあるんじゃないよ。
※展示期間は変更になる場合があります。



笠鉾は、元々は一人で持つ傘型の出し物で、傘をそのまま大きくしたのが笠鉾。だから笠鉾の柱は一本だということを説明してもなかなかわかりづらいようじゃ。展示中の笠鉾の幕をめくって中の柱を見せるわけにもいかず、苦勞してるわい。じゃが、笠鉾本蝶蕨の実物大模型を展示している間は、中の構造が良く見えるので助かるわい。

お祭り体感シアター 「笠鉾本蝶蕨実物大模型」

かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記⑦」 7月18日(金)開催 鏡町子安観音堂十八夜祭



かぐらちゃん

みなさん8月は暑さや大雨に負けず、くま川祭りや夏の一日体験DAY、盆踊りなどたくさんイベントを楽しんでしょか？

今回お話をするのは、毎年7月18日に鏡町で行われる、「鏡町子安観音堂十八夜祭」。鏡町の十八夜祭といえば、イベントステージや総踊りなどで賑わうお祭りですが、鏡町子安観音堂の縁日に関連した行事なんです。お祭り当日の日中に、お坊さん呼んで、地域の方々が法要を行っているんです。

そして、なんといっても忘れていけないのが、各常会などがお祭りのために展示する「造り物」です。この造り物は、リサイクルできるもので創意工夫を凝らすのが大事なポイントなんです。題材は、時事的なモチーフやキャラクターが多く、今年は、国際万博のミャクミャクさんがたくさんありました♪ 来年はどんな造り物があるか今から楽しみです(´艸`)



今年の最優秀賞「折り鶴の祈り」



使ったことあるかな？

昔のくらしをささえた道具が大集合！
電気ガス水道が当たり前になるより前のくらしでは、人びとは様々な道具を使いこなし、生活に必要なことは全て手作業で行っていました。この企画展では、博物館が所蔵する昔のくらしの道具を約30点展示し、忘れられつつある昭和30年頃までのくらしについて紹介します。その他、米作りの農具も一部展示します。この機会にぜひ、昔懐かしの道具の見学にお越しください。
問合せ 市立博物館 ☎ 34-5555
※団体見学をご希望の方は、事前に博物館までご連絡ください。

開場時間 9時～17時
会場 お祭りでんでん館 伝承ルーム
観覧料 無料

会期 8月19日(火)～10月5日(日)
※閉場日はお祭りでんでん館の休館日と同じです。



おしらせ

博物館出張企画展示

昔のくらしと道具展

お祭りでんでん館(八代市民俗伝統芸能伝承館) 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1-47
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp



でんでんHP



Instagram



会館室予約